

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	経営戦略研究科後期課程
大項目	7 国際交流 (研究科)
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流 (国内外における教育研究交流) についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流 (国内外における教育研究交流) を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況 (院)

II. 自己点検・評価 (2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 国際交流の基本方針について、入試要項やウェブサイトに公表する	→毎年1回の要項とウェブサイトの更新とアクセス数	C	D	/	/	/
2. 国内外における提携大学院との教員・学生間の交流を拡大する	→国内外の研究科間協力を結ぶ協定大学院の数	C	C	/	/	/
3. 学内の国際教育・協力期間との連携を強化する	→CIECとの会議回数	C	C	/	/	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目 7.0.1	7.0.1 国際交流 (国内外における教育研究交流) についての方針を明示しているか。 (方針明示の有無) <input checked="" type="checkbox"/> いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input type="radio"/> 明示している <input checked="" type="radio"/> 明示していない 専門職課程の国際経営コースについては、英語版のHPを公開しているが、博士課程については記載がない。 (説明) 当研究科専門職課程に在学中の学生は当研究科の日本語版HPの中に博士課程の英語版入試要項が掲載されているのでそれにより情報をえることができるが、海外からの入学志願者にはアクセスしにくい。
小項目 7.0.2	7.0.2 国際交流 (国内外における教育研究交流) を適切に行っているか。 (説明) 国内外の機関との共催による国際シンポジウム、セミナー、各教員が主宰するセミナー、研究会への海外研究者の招聘、海外の学会などでの研究発表などは活発に行われている。しかしながら、交流は研究の必要性に応じて個々の指導単位で行われており、組織的な取り組みには至っていない。
その他	

《評価指標データ》

(特定指標データ)本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【経営戦略研究科後期課程】			単位	2006	2007	2008	2009	2010	2011	備考	
指標1	国際交流協定締結機関数		機関	/	/	-	-	-	-		
指標2	国際交流協定締結国数		国	/	/	-	-	-	-		
指標3	海外からの受け入れ学生数	国数	国	/	/	-	-	-	/	累計数	
		外国人留学生	正規	人	/	/	0	1	1	1	・※5/1現在(学校基本調査) ・正規とは学位取得目的 ・特別学生を含む
			交換	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・交換は正規以外とする。 ・大学院短期留学を含む
		外国人留学生在籍学生比率	正規	%	/	/	0.0	5.9	5.9	6.3	外国人留学生÷在籍学生数
			交換	%	/	/	0.0	0.0	0.0	/	
	その他(セミナー等による受け入れ)	人	/	/	-	-	-	/			
指標4	海外への派遣学生数	国数	国	/	/	-	-	-	/	累計数	
		人数	長期	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・1学期以上を「長期」
			短期	人	/	/	0	0	0	/	・累計数 ・1学期未満を「短期」
		在籍学生比率	長期	%	/	/	0.0	0.0	0.0	/	海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	%	/	/	0.0	0.0	0.0	/	
指標5	海外からの受け入れ教員数	長期	人	/	/	/	0	0	/	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	/	/	/	0	0	/	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標6	海外への派遣教員数	長期	人	/	/	/	0	0	/	・累計数 ・1年間以上を「長期」	
		短期	人	/	/	/	0	0	/	・累計数 ・1年間未満を「短期」	
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数		人	/	/	-	-	-	/	・累計数 ・春・秋の合計	

※指標3「海外からの学生の受け入れ」の「外国人留学生」(正規)は2009年度までは1年間の累計数。2010年度以降は当該年度5月1日現在の数字。(学校基本調査に合わせた。)

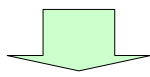
(その他の指標)
協定校と相互交流数(学生・教員)
国別国際交流協定締結先機関数
国別留学生数(学部別)の経年変化

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目 7.0.1	
☆ 小項目 7.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸ばさせるための方策

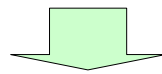
注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目 7.0.1	
☆ 小項目 7.0.2	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価 (2)】改善すべき事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目 7.0.1	国際交流方針を明示し、海外にも発信する
★小項目 7.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目 7.0.1	経営戦略研究科のHPの英語版に後期課程先端マネジメント専攻のページを設ける。
★小項目 7.0.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】《次年度に向けた方策》

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価専門委員会の評価>

【学外委員】

○国際交流の基本方針の公表に関し、昨年と後退した評価になっていますが、その理由が明確になっていないので外部にはわかりにくい。同じC評価でも良いのではないのでしょうか。あるいは昨年の評価を変更可能ならDにしても良いかもしれません。国際シンポジウムや研究会などでの交流が行われているようですが、このレベルでも国際交流としては評価しても良いのではないのでしょうか。必ずしも「組織的な取り組み」という形式にこだわらなくとも評価してよいのではないかと思います。

【学内委員】

○「国内外の研究科間協力を結ぶ協定大学院の数」を進捗評価の指標として「C」評価となっていますが、そもそもどこも協定を締結していなければ「D」評価になるのではないのでしょうか。

○いずれにしろ、国際交流における組織的な取り組みが強く望まれます。

○今後の取り組みに期待します。

○設定された目標の指標を一覧表にして経年で示し本シートに貼り付けて進捗状況を確認する方法もお考えください。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- ・国際交流の基本方針に関する記述が欠けており、この面の整備を急ぐ。
- ・他大学との研究科間協定はないが、海外研究者の招聘や国際シンポジウムを活発に行っており、これを考慮してC評価とした。
- ・過去データを整理し、今後は設定された目標の指標に対する進捗状況を分かり易く表示する。